

応援します、生涯学習 - ふえる知識と仲間の輪 令和6年10月1日発行



# あい風通信 62号

(学びのスタンプ通算69号)

## いよいよ終盤 10月以降の講座予定です！

### 主催講座

#### 講座10 「北海道バレー構想と石狩～半導体、データセンターそしてIT産業など～」 ★地域・企業コース

第1回 「北海道バレー構想について」

講師 山本 強 北海道大学名誉教授・総長特命参与

日時 11月1日(金) 10:30~12:00

第2回 見学学習「クラウドに特化した郊外型データセンターの紹介/  
AI(人工知能)って何だろう?【初学者向け】」および見学

講師 案内 朝倉 恵・三谷公美 さくらインターネット 研究所・技術広報

日時 11月15日(金) 9:00~12:30 集合 石狩市民図書館(9:00)

第3回 「ゼロエミッション・データセンターと自動配送ロボットの取り組み」

講師 尾方 哲・水迫 浩昭 京セラコミュニケーションシステム デジタルインフラ部長・経営企画室モビリティ事業企画課長

日時 11月29日(金) 10:30~12:00

場所 第1回・第3回 石狩市花川北コミュニティセンター 第2回 現地見学

◇北海道バレー構想やIT産業、生成AI、進化するデータセンター、自動配送ロボットなどについて学び、データセンターも実際に見学します。



#### 講座11 「札幌と石狩をつないだ水路」 ★いしかり学コース

講師 細川 健裕 北海道開拓の村 学芸員

第1回 「モノ・ヒトを運ぶ人工河川」

日時 11月6日(水) 10:30~12:00

第2回 「開拓適地を広げる排水路と道路の敷地」

日時 11月20日(水) 10:30~12:00

場所 石狩市花川北コミュニティセンター

◇札幌本府の建設以前より鉄道開設後においても札幌と石狩とを結ぶ水路が求められ、開鑿と改修、延長が繰り返された。その背景には、社会情勢と指導者や技術者の変化があった。各種資料に残る関係者にも注目し、計画と実際にどのような差異があるのか、役割がどのように変遷したかを考察することで、水路が石狩の発展にどのような影響を与えたかを学ぶ。



#### 講座12 「野生動物の暮らしと私たち」 ★教養・文化コース

第1回 「ヒグマの暮らしと私たち」

講師 白根 ゆり 北海道立総合研究機構自然環境部生物多様性保全グループ 研究職員

日時 11月12日(火) 10:30~12:00

第2回 「エゾシカの暮らしと私たち」

講師 亀井 利活 北海道立総合研究機構 自然環境部生物多様性保全グループ 主査

日時 11月26日(火) 10:30~12:00

場所 石狩市花川北コミュニティセンター

◇近年、全道各地でヒグマによる農作物被害、都市部への出没と人的被害などが報告されていることは皆さま周知のことと思います。道内のヒグマの生息数は22年末現在で約1万2千頭余り、同じくエゾシカの生息数は23年度現在73万頭と推定されています。エゾシカによる農作物被害、農林業被害、交通事故などの被害も多々報道されている通りです。私たちの生活圏の中へ現れるこれら野生動物とどのように付き合っていくべきなのでしょう。代表的な北海道の野生動物について学びます。



## まちの先生企画講座

### 講座4「手作り食品の楽しみ」

講師 萬年 静代

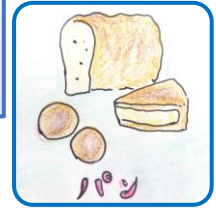
第1回「シソしごと」 (9月8日終了)

第2回「季節のジャム作り」 10月23日(水)

第3回「イーストを使わないパン作り」 12月4日(水)

時間 10:30~12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター料理室

◇身近にあるもので、おいしく楽しくつくれるものを考えてみました。



## まちの先生 応募講師説明会に 9名参加

9月13日(金)、まちの先生企画講座令和7年度応募講師への説明会を石狩市民図書館視聴覚室で行いました。応募されたのは、「暮らしに使える風呂敷講座」「フルーツとオーケストラ」「大人だけの大人こそできる英語学習法」「クリスマスリース、ミニ門松づくり」「手作り塩こうじ作り」「ペーパークラフト講座」「面白漢字塾」「石狩市の花・木・鳥の映像講座」を企画提案された8名の他に1名の見学参加がありました。今後、運営委員会で検討して10月には令和7年度講座を決定する予定です。



### ★夏季交流会を行いました!

8月2日(金)、17名が参加してサスイシリの杜で夏季交流会を行いました。今回は、直前の講座が中止となったためカレッジ生のみなさんに交流会のお知らせをすることができず申し訳ありませんでした。来年はぜひ一緒に歓談したいと思います。



### いしかり市民カレッジ

### 修了証授与式を行いました

第28回修了証授与式を9月19日(木)12時30分から市役所ロビーで行いました。出席された受証者に対し、加藤龍幸学長(市長)が修了証を手渡され、これからも講座を愛し学び続けられるよう激励しました。受証者を代表して松澤實さんが感謝と決意を述べて終了しました。

★受証者(敬称略)  
大地 香  
門間悟一  
今井信一  
釣本峰雄  
立田節子  
松澤 實  
阿部 靖



### カレッジの公式ライン開設!

### ぜひ登録を!!

登録すると講座内容や日程、申し込み締め切り日、ホームページの講座紹介記事掲載のお知らせ、緊急連絡などの情報を受け取ることができます。スマホでQRコードを読み取ると簡単に登録できます。登録画面の下の枠



組みをクリックすると簡単に講座申し込みができ、また市民カレッジのホームページも閲覧できます。

ぜひ登録して下さい。

### 情報交流広場(学びの広場)展にて

### いしかり市民カレッジ展を開催!

札幌市かでの2・7において9月17日(火)~30日(月)まで開催し、期間中にはスタッフも参加し、来場者に「いしかり市民カレッジ」を紹介する活動を行いました。







# ひろば

ISHIKARI  
CITIZEN'S  
COLLEGE

チョコっと  
いしかり学  
《29》

## 石狩浜のハマナス

いしかりはま の はまなす

石狩ファイル 0128-01(2012/12/01)  
発行 石狩市教育委員会

石狩川河口の砂嘴（さし）に広がる「はまなすの丘公園」にはハマナスが群落をなしており、花期には濃いピンクの花を咲かせます。図鑑には「バラ科、丈50cm～150cmの落葉低木」と書かれていて、石狩市内住宅地の街路や公園に植栽されたたくさんのハマナスは、図鑑の表現のような高さに成長しています。けれども石狩浜では、50cmに満たない丈のハマナスが広く分布しています。その理由は、海辺の厳しい環境にあります。



ハマナス

海からの強い風に対し、ハマナスは草丈を低くすることで適応し、夏の極度の乾燥には、地下茎を発達させ、そこから細いたくさんの根を地中に伸ばすことによって、地下数十cmの深さにある砂中の水分を取り込んで成長します。葉は厚く表面に光沢があり、短毛や棘（とげ）の密生した枝も、乾燥の激しい浜の環境に適応しています。5月下旬からが花期ですが、丈は低くても、花の大きさは植栽されたハマナスに劣らず、5枚の花弁を開きます。開花した花は、ほぼ一日で散ってしましますが、散った後も周囲に香を漂わせています。やがて、硬い緑色の実（正式には偽果（ぎか）と言います）が赤く熟してくると、次々に開く花と実が、枝先に同時に観察できるシーズンとなります。9月に入り、実の中の粒々の種子（正式にはこれが本当の果実）が大きく硬く成長し、実がはじけて所々に散らばり始める頃、花期は終わりを迎えます。やがて、冷たい風が吹き始め、雪が降り始めますが、風は内陸部よりも強く海浜草原を吹き渡るため、積雪は内陸部に比べて少なく、植物は凍結の危険にさらされることとなります。草丈の低いのは冬の厳しさに適応するためでもあります。

昭和40年代には、花弁から香水が作られていました。実は、未熟な青いものは、地元の人たちが漬物の材料として利用し、赤熟してからは、果実酒やジャムの材料として利用されてきました。

石狩浜のハマナス群落は、江戸時代末期から規模の大きなものであったことが松浦武四郎の著作からもうかがわれます。石狩市内で長期に渡って浜の観察をしてきた人たちによると、かつての状態より、花が少なくなったのではないかとその声が聞かれます。現在、ハマナスは「石狩市の花」、また「北海道の花」に指定されていて、広い海浜草原に広がるハマナスは、北海道らしい印象的な景観を展開しており、今後とも大切にしたいものです。  
(林 迪子)

### 【参考文献】

- ・北海道環境科学研究センター(2006)北海道の海浜保全マニュアル.北海道環境科学センター.
- ・石狩浜海浜植物保護センター(2003)石狩浜自然観察ハンドブック.石狩市.
- ・松浦武四郎著・丸山道子訳(1985)石狩日誌.凍土社.

**編** 月日が経つのは早いもので季節は秋。講座も終盤に入り11月は講座が目白押しです。コロナ禍の影響もあってか、このところ受講者がやや減少傾向にあり気がかりです。『人生100年時代』身体とこころの健康のためにも、多くの皆様が講座に足を運んで頂き、ともに学べることを願っています。大勢の皆様を受講頂くことが私たちスタッフ一同の大きな励みにつながります。  
**集**  
**後**  
**記** そんな思いを込めて「あい風通信」の編集に携わっています。(E・N)

### 市民カレッジデータ

(9月20日現在)  
登録者 107名  
連携団体 104団体



ロゴ制作者  
丸山英里子さん

■発行 いしかり市民カレッジ運営委員会  
編集担当 鈴木、石井、門間、徳田、西、森

■お問合せ 社会教育課(石狩市民図書館内)  
石狩市花川北7条1丁目26 Tel&Fax 0133-74-2249  
ホームページ [いしかり市民カレッジ](#) [検索](#) ←